

[年賀状の準備][Windows 10 秋の大型更新の概要]

2021年11月27日 河出 修

[年賀状の準備]

1. 「筆まめ」について

年賀状や暑中見舞い等は、パソコンで作成・印刷するのが当たり前の時代になってきました。今回は「筆まめ」の「Ver.32」を取り上げて年賀状作成の基本的なことを説明します。「筆まめVer.32」は「筆王」「筆ぐるめ」から乗り換えが可能。また、5台までインストールできる。

2. 「筆まめ」の起動

- 「筆まめVer. 32」のショートカットをダブル・クリックする。
- 「オープニングメニュー」画面が表示される。→「宛名面を作る」をクリックする。



3. 差出人の登録

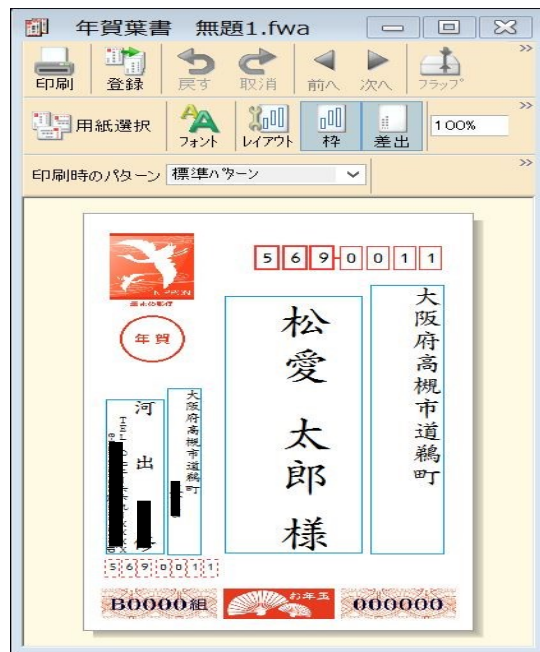
- 「宛名面を作る」タブ → 「差出人を作成・編集する」ボタンを押す。
- 差出人の住所、氏名、電話番号、E-mail等を登録する。
- 差出人は5種類登録でき、その中から選択できる。(個人、夫婦連名等)

4. 宛名の登録

- 「宛名面を作る」タブ → 「新しい住所録を作る」か「保存した住所録を開く」ボタンを押す。
- 「氏名(N)」欄に氏名を入力し、「敬称(K)」を選ぶ。(フリガナは自動付与される。)
- 「〒(Z)」欄に郵便番号を入力すれば、「住所1(1)」に自動変換される。「住所1(1)」の後部、または「住所2(2)」に続きの住所を入力する。

●宛名入力画面

●宛名印刷イメージ



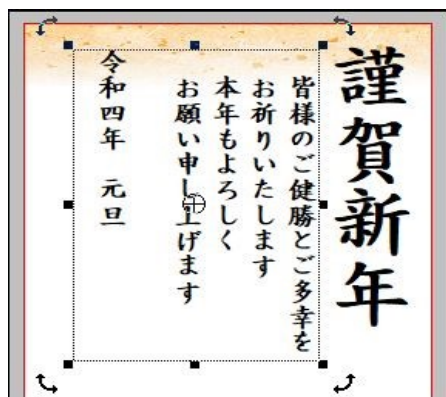
5. 「デザイン面を作る」を開く。

- 「デザイン面を作る」をクリックする。

6. 背景の設定

- 「デザイン面を作る」タブ → 「収録サンプルから開く」ボタンを押す
→ 「筆まめ32カテゴリ」タブを押し → 「3 背景」を開く
→ 「03年賀背景(縦)」を開くと「背景画」が表示される。 → 「好みの背景」を選択する。

7. 文面ファイルへの文字入力



- 「文字・文章の入力」欄の中の「文章」を選び、入力範囲を設定する。
- フォントや文字サイズ等を設定する。
- 設定した入力範囲に文章を入力する。
- 入力範囲が「イラスト・写真」と重なる場合は「重なり順」→「最前面へ」に設定する。
- 「定型文章」を利用することもできる。
 - 文章が苦手な人も安心。「定型文章」を多数収録。
 - 年賀状に添える一言の文例「定型一言」を100点収録。

8. 文面データへのイラスト、写真入力



- 「画像の貼り付け」欄の中の「イラスト・素材ボックス」を選ぶ。
- 入力するイラストまたは写真を選択し、ダブルクリックで取り込む。(左上に取り込まれる)
- イラスト、写真の位置を調整すれば完了です。
- 「イラスト・写真」文章と重なる場合は「重なり順」→「最背面へ」に設定する。
- デザインツール
 - 「お絵描きペン」「ハンコメーカー」「スタンプ」
 - たくさんの写真をセンスよく演出！「フォトカラーージュ」
 - 写真がかんたんに切り抜ける！「フォトカッター」
 - 「クローンブラシ」
 - ・複数写真の「いいところ」を取って別の写真に貼り付け
 - 「QRコードの作成、貼り付け」
- 文字・画像の編集
 - 写真をおしゃれに加工できる！「筆まめフィルタ」
 - 写真をキレイに補正・加工！「筆まめレタッチ」

- 内蔵イラストや写真で満足できない場合は、インターネットのダウンロードサイトを利用可能。
(ただし、ダウンロードサイトには「有料」の場合があるので注意が必要)
- 無料のダウンロードサイトの例 (Canon Creative Park): ダウンロードするにはIDが必要。
<https://cp.c-ij.com/jp/categories/CAT-ST01-0174/top.html>

9. 文面ファイルの保存

- 「保存」ボタンを押すと、上書き保存される。
- 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」 → 「保存場所」と「ファイル名」を指定する。

10. 他形式の住所録ファイルの変換

- 「宛名面を作る」タブ → 「他形式の住所録を開く」ボタンを押す。
- 「筆王」、「筆ぐるめ」の変換や「他の形式」の変換が可能。
 - ・「他の形式」→「Excel」、「Outlook」、「筆自慢」、「宛名職人」、「ウインドウズアドレス帳」、「筆休め」、「楽々をはがき」、「はがきスタジオ」、「筆まめの古い形式」等が変換できる。



[Windows 10 秋の大型更新・21H2の概要]

- 最新のWindows 10の正式名称は「Windows 10 Ver.21H2」です。
 - 「Windows 10 Ver.21H2」は 2021 年 11月16日に配信が開始された。
- 「Windows 10 Ver.21H2」の主な新機能
 - Wi-Fi(無線LAN)のセキュリティとして「WPA3 H2E(Hash-to-Element)」をサポート
 - 「Windows Hello for Business」を迅速に展開する機能
 - 「Windows Subsystem for Linux(WSL)」と「Azure IoT Edge for Linux on Windows(EFLOW)」におけるGPU演算のサポート

★その他

 - (1)「Edge」の「ニュースと関心事項」を開くと最新の情報をすばやく把握できる。
 - (2)アプリとアプリのタイルは「ライトモード」や「ダークモード」で目立たせることができる。
 - (3)「Edge」のWebサイトのタブをタスクバーに登録することができる。
 - (4)「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押すと、開いている画面を切り替えられる。
 - (5)「拡大鏡」でテキストを読み上げることができる。
「設定」で「拡大鏡」をオンにしておくか、Windows ロゴ キー+ (プラス記号) を押して、
[ここから読む] を選択します。次に、マウス ポインターを使用して開始する場所を選択します。
 - (6)キーボードから絵文字を追加する。
Windows ロゴ キー・ を押しながらピリオド(.)を押すと、絵文字パネルが開きます。
そこには、テキストや記号で作られた顔を追加できる顔文字もあります。(★_★)
 - (7)画面の一部を切り取る
Windows ロゴ キー・ + Shift キー + S キーを押して切り取りバーを開き、キャプチャする領域の上
でカーソルをドラッグします。切り取った領域は、クリップボードに保存されます。
- 「Windows 10 Ver.21H2」適用の手順
 - (1)「スタートボタン」→「設定」→「更新とセキュリティ」→「Windows Update」を開く
 - (2)「更新プログラムのチェック」をクリックする
 - (3)「オプションの更新プログラムを表示」欄に「Windows 10、バージョン21H2の機能更新プログラム」が表示されていることを確認する
 - (4)「ダウンロードしてインストール」をクリックする
 - (5)Windows 10 Ver.「21H2」に更新される

4. Windows 10 Home/Pro のアップデート間隔が変わる。

- 今後の機能アップデートは「1年に1回」になる。(セキュリティ関係のアップデートは従来通り)